

松川村

あしまがわ
芦間川

芦間川流路工

★施設の概要!

規模 堰堤6基 (高さ5.0~8.5m、堤頂長67.7~215.6m)
流路工(長さ約3km)
工期 不明

★ポイント!

松川村南西部の有明山、馬羅尾山等を源とする“芦間川”は、上流域で巨石や岩塊、土砂を発生させ急流により下流に運ばれることにより氾濫を繰り返すとともに、中下流域において流速を落とし、大扇状地を形成しました。

上流域で発生する土石流等を砂防堰堤で食い止め、急勾配のため速くなる水の流れや、粒径の小さい石や砂などの流下による渓流の侵食を防ぐための流路工を整備することにより、芦間川の流れを安定させています。また、芦間川中下流域に形成された扇状地は“神戸原”と呼ばれ、現在は美しく広がっています。



アルプスと芦間川



芦間橋から見る清らかな流れ

【観光情報：馬羅尾高原・有明山】

「馬羅尾高原清流の森」は、自然の美しさを変えずに、ありのままの姿に整備されており、自然を満喫できます。

馬羅尾高原は、松川村のシンボルの信濃富士と呼ばれる有明山の登山口にもなっています。夏の間は、多くの登山者や観光客でにぎわいます。

有明山の頂上には登山口から4~5時間で着きます。そこからの美しい安曇野の眺めは、この登山の素晴らしいご褒美です。



【アクセス&留意ポイント】

安曇野ちひろ美術館



安曇野ちひろ美術館前の県道有明大町線を南下したところに芦間川があります。

芦間川に架かる芦間橋から上流を見上げるとアルプスを背景に清らかな流れを見ることができ、下流には広大な安曇野が広がっています。

うっかり見逃してしまいそうな場所ですが、涼しげな景色が楽しめるおすすめのスポットです。



芦間橋